道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

三好礼子
エッセイスト・国際ラリースト
～http://www.fairytale.jp/～

日焼け止めよりもニット帽、Tシャツよりもレインウエア。ホカロン、真空断熱マグ水筒、オーバーグローブも欲しかった香港のトレラン「ビブラム香港100」から帰ってきました。毎年のように参加しているこのレース、近くて暖かく制限時間も30時間と長いので、冬場にトライするのはもってこいの100キロ。イギリス統治下に訓練用に作られた山のロングトレイルは、近代化で石段や舗装路も増えたもの、青い海とビルの夜景が印象的な快適な道が続きます。高い山はなくともタフなコース設定で、漏れなく心折れそうになるのですが、エイドボランティアの可愛いらしい子供達が大勢で出迎えてくれて、選手をフォロー。「水は？」「手伝うことは？」「グッジョブ！」などと言われると、リタイアが脳裏にあった人も「いけることまで行くか」となります。カップラーメンも食べ放題だし！

という訳で今年は、日本人も過去最高の120人がエントリー。大会側も選手たちも事前準備は万全だったのですが、タイミングを合わせたかのようにやってきたのは、沖縄や台湾をも襲った半世紀ぶりの大寒波。スタート地点から凄まじい強風が続き、夜間走行となる後半の寒さ対策で選手は大わらわです。確かに寒いけれど香港だし、気象庁の予想は昼間9度で夜間零度。寒冷地仕様の私には快適とばかりに走り出し、実際途中までは良かったのですが、夜中の3時過ぎに着いた最後の山頂（標高957mの大帽山）で信じられない光景に出くわしました。舗装路を30分ほど下ればゴールなのに、一歩を踏み出したら、ツルッ。「ん？」。もう一歩ツルッといって、全面路面凍結に気づきました。今までの人生で見たこともない数キロに渡るうっすら凍結。後で知ったのですが、この夜雨が降った後に最高でマイナス9度まで下がり、道路は一気にスケートリンク状態になったとか。

スタート前、香港在住の日本人ランナーと。この先彼らにも初体験が待っていた。

冬季のウエアで寒さは一切なし。24時間以内完走でブロンズトロフィーをゲット♪

わやのゴール会場。寒さに慣れている日本人選手が低体温の手当てをする場面も。

道端のわずかな草地を踏んで何とか進むものの、つづら折り故に何度か横断せねばならず、その度に心臓爆発。そして周りでは、そんな状況になるとは露知らずの学生キャンパーたちが、初めて見る凍結路面で嬉々として遊んで（転んで）います。真剣なトレイルランナーと吹き飛ばされそうなテントから出てくる薄着の若人たち。噂を聞きつけて街から上がってくる物見遊山な車と人も加わって、上を下への大騒ぎ。「大丈夫か？この状況」。倍以上の時間をかけてゴールしてみれば、迎えるアナウンスの声は明るいものの、凍りついた会場にいる選手やサポーターたちは皆ブルブル震え、低体温症気味です。当然すぐにゴール手前の2つのエイドで「レース中止」となり、送迎を待つ者や自己責任で山を降りる者で大変な騒ぎとなりました。

しかし一番大変だったのは、選手よりも被害が多かった観光客（怪我や低体温症で80人）を救助したくても、凍結で動けなくなった車両が邪魔で、救急車やパトカーが立ち往生だったこと。そのパニックを横目に地下鉄のある街までトコトコ歩いてホテルに帰りましたが、本当の地獄はここからだったようです。私の後にいた日本人女性の話によると、下りはもとより登りも草地も全てが凍りつき、なんと数キロを3時間かけて降りてきたとか！　ゴールは満面の笑みでしたが、仲間の安否を確かめるのに丸一日かかった人もいたようです。救助ができずに山頂小屋で緊急ビバークを言い渡された選手は30人。

実は一9度まで下がった香港の最高峰「タイモウサン」。報道はオーバーヒート！？

「50カ国も参加しているのだから、楽しい会話だったのでは」とちょっと興味津々。昨年のアイガートレランで嵐が収まるのを駅舎で待ったあの時間が蘇りますが、あれはたった2時間。やっぱり装備（予備電池）は必携ですね！

とにかく選手が全員無事でホッとしましたが、ここまで凍結することを予想していた人はおそらく皆無。未曾有の出来事は、たくさんの課題を浮き彫りにしました。主催者も大変だったと思いますが、次回に役立てることは一杯あったのではないでしょうか。どの国のどの時期でも起こりうる異常気象や災害に備えるために必要なこと：レースだけでなく普段の生活で役立つことも今回はたくさん学んだ気がします。さて、肝心なレースはどうだったのかというと、膝痛も胃痛も睡魔もなく、限りなく快適な旅でやっぱり香港は相性がいいようです♪

ゴールタイムは20時間40分42秒。総合666位／1841名出走。女性クラス88位／153人中。完走率46％（レース中止によるリタイア者は462名）。ボランティア755人。

初の都心型ロープウェイ構想

フリージャーナリスト
湯浅玲子

福岡の数少ない大通りのひとつに「大博通り（たいはくどおり）」というものがあります。博多駅から博多港に向かって真っすぐ続く約2キロの道路で、中央分離帯を挟んで8車線あります。「大博通り」という愛称は歴史ある博多の町の大通りを意味していて、1969年の福岡市制施行80周年を記念してつけられました。

この通りは戦火で荒廃した博多の町を復興するために行われた、豊臣秀吉による区画整理事業「太閤町割」によって生まれた道でした。一小路（いちしょうじ）あるいは市小路と呼ばれ、最初に区割りの起点とされた道だったのです。それが拡張されて現在の大博通りとなりました。現在では多くの車両が行き交う近代的な道路ですが、実は長い歴史を持つ道なのです。

歴史ある場所だけに大博通り周辺には博多の観光スポットがいくつも点在しています。博多祇園山笠にゆかりの深い承天寺や櫛田神社、黒田藩主の墓所がある東長寺、移転前の博多駅があった場所には九州鉄道発祥の碑が建っています。さらに通りが海に突き当たるあたりはコンベンションゾーンとして整備され、国際的な会議や展示会に対応できる充実した施設があります。

あちこち散策できないという人は通りを歩くだけでも博多の歴史散策ができる仕掛けが。「歴史の散歩道」として通り沿いの約20カ所に博多の歴史を紹介するモニュメントが設置されているのです。国宝「金印」をかたどったモニュメント、蒙古襲来のときに博多湾に残された船の碇石など、博多駅からたどっていくと弥生時代から近世までを追うことができます。古い写真や古地図などもあり、当時の様子や博多の移り変わりを感じることができます。

実は今、大博通りで面白い構想が持ち上がっています。通りの上空にロープウェイを建設して、博多駅から博多港のコンベンションゾーンを結ぼうというものです。大博通りの先にあるウォーターフロント地区では再整備計画が進んでいますが、街の中心である博多駅などからのアクセスが悪いことが課題になっていました。それを解決すると同時に、空から博多の街を楽しんでもらおうというものです。

歴史の散歩道でひときわ目を引く古い二連式ポンプ「おポンプ様」。

大博通りの先には福岡国際会議場などがあるコンベンション地区が。

もし実現すれば日本で初めての都心型ロープウェイになるというこの構想。もちろん正式決定ではありませんし、実現のためにはさまざまな課題があります。でも、とてもユニークなアイデアで何だかワクワクします。「こんなこと、できたらいいな」「これ面白くない？」。まちづくりに大切なのは自由な発想と未来を描く想像力。そんなことを再認識した出来事でした。

（写真提供：福岡市）

ハッと思いました

先月の成人の日には、例年どうり各地で式典が行われ、騒いで逮捕されるお子様たち、いや新成人が多数出ました。選挙権が二十歳から十八歳に引き下げられたと言うのに、大丈夫ですかね？

いっそ二月に入って、節分と同じ日に成人式をやればいいのに・・。なぜかって？「アホな成人式参加者は、外！」って言ってみんなで豆を投げつけてやればいい。なんて思っちゃいました。

ところで、「鬼は外」の鬼とはなんだろうと考えるに、それは、人にとって、怖いもの、脅威となるもの、恐ろしいものなどで、視覚として定番のあのスタイルになったのでしょう。閻魔様があのように表現されるように。

また、「鬼」は一般庶民の想像を超える異端な存在であるとも言えます。

現代社会には、この「鬼」と読んでも差し支えない存在が無数にあると感じています。事件、事故などで見聞きするあらゆるものが、とても自分の頭の中では整理がつかない事ばかりだからです。

峠道の下りを時速八十kmで大型バスを走らせたり、高速道路でバックしたり、Uターンして走ったり、出口から進入したり、ブレーキとアクセルを間違えたが、詰まるところは、技術や社会の求めるものに、人の能力、人の心構えが全く追いついていないのが根本にあるのではないでしょうかね。自己責任とかIT技術の活用とか絆とか思いやりとか環境保護とかエコージーとか、言葉だけはいつもかっこよくて、耳に当たりの良いものばかりが氾濫しています。

時代とともに、人が大人になりきれず幼いままでいるようになってはいませんか？我が身をもっても反省しきりです。

「福は内」って、この期に及んでまだまだ望むものがあるのですか？あるんでしょうね。

やっぱり、人が一番コワイのかな。業が深いです。だからこそ・・ね。この先は言わずとも分かりますよね。

時代は自動運転（走行）がそこまで来ており、クルマの安全性は格段にアップしているのに・・？免許制度についても何かしら新しく改革していく事も必要になっているのではと思ってしまいます。

色々な問題があるのは分かりますが、詰まるところは、技術や社会の求めるものに、人の能力、人の心構えが全く